



2009年5月4日掲載

ふくちゃんのGW2009 / 観音崎編

今月の“つれづれWEB”は、ゴールデンウィークのドライブの模様をお届けしよう。とはいえ、第1回の掲載はまだまだゴールデンウィーク真っ最中ではあるが、そんなことは気にしない、気にしない。

今回の行き先は、最近“縄張り”になりつつある三浦半島。さわやかな潮風を浴びたいのだ。

朝7時10分、自宅を出発。環八は渋滞しているものの、この程度はいつものことである。

このゴールデンウィークの話題といえば、高速道路どこまで行っても1000円。そのおかげか、東名高速東京ICの案内表示がとんでもないことになっていた。

「清水一大井松田 渋滞70km」・・・70km!?
かつて九州道で100kmの渋滞が発生したというが、案内表示でこんな数字を見るのは初めてである。

高速道路1000円の影響で激しい渋滞が予想されていたが、渋滞70kmは10km/hでも7時間の計算。私だったら、一般道を通るだろう。

こんなバカ渋滞を鼻で笑いながら、第三京浜、横浜新道経由で横浜横須賀道路へ。今回の旅の第1目的地は、観音崎である。

しかも、今年3月20日には横横の佐原（さら）IC—馬堀海岸（まぼりかいが）ICが開通して全通。終点の馬堀海岸ICからは、観音崎まで目と鼻の先なのだ。

途中横須賀PAでトイレ休憩をし、新規開通区間へ。佐原ICまでは2車線だったが、ここから先は1車線となる。

地図を見て「浦賀ICを過ぎたら真っ正面に海が見えるだろうな」と想像していたら、まさにその通り。目の前に東京湾が広がるのだ。

終点の馬堀海岸ICを右に曲がると、わずか5分ほどで観音崎に到着。時刻は9時、駐車場を探す。

観音崎バス停脇の第1駐車場は満杯で、向かい側の第2駐車場へ。こちらは空きがあったが、最後の2台だったようですぐに「満車」の看板が掲げられた。

運よく駐車場を見つけられた我々は、車を降りて観音崎灯台へ。途中、海岸沿いの公園では、あちこちでバーベキューを楽しむ家族連れを目にする。

岬を上り、観音崎灯台に到着。この灯台は、見学だけではなく展示室もあり、東京湾の入口で船の安全を守る灯台の役割を紹介している。



灯台に上ると、浦賀水道から東京湾が一望できる。視界がよければアクアラインなども見えるようだが、この日は残念ながら見る事ができなかった。

観音崎には、灯台のほかに東京湾の安全を守る施設があるのだ。それが「東京湾海上交通センター」である。

観音崎灯台をあとにし、我々は東京湾海上交通センターへ向かう。距離は近いのだが、アップダウンのある山道なので意外と遠く感じる。

それでも、5分ほどでセンターに到着。ところが、見学は平日のみとのことで、入口は閉鎖されていた。

岬の上にある東京湾海上交通センターから、駐車場に戻る。山道ではあるが、いいお散歩コースである。

観音崎バス停では屋台が出ており、我が息子のためにフライドポテトを購入。しかも、揚げたてを提供するためおいしく、追加でもう1つ購入してしまった。



10時過ぎ、観音崎を出発して次の目的地、三崎に向かう。この続きは[こちら](#)からどうぞ。

[\[トップページ\]](#)



2009年5月15日掲載

ふくちゃんのGW2009／三崎&和田長浜編

今月は、[前回](#)に続いてゴールデンウィークのドライブの様をお届けしている。目的地は、三浦半島である。

10時過ぎに観音崎をあとにした我々は、途中休憩を挟みながら海沿いを進む。浦賀、久里浜、三浦海岸と、オーシャンビューを楽しみながらの進行である。

11時半には三崎に到着。ところが、ここでもいつも止める三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」の駐車場が満車なのだ。

そこで、そばにある前金制の駐車場へ。ここはまだ余裕があり、うらりで発行される駐車場のサービス券で割引が受けられるのだ。

時間は少し早いですが、昼食にする。うらりの向かいにある、こぢんまりとした店を選んでみた。

実はこのお店、以前から目をつけていたのだ。ただ、定休日で訪れるチャンスがなく、今回ようやく入ることができたのである。

面積は狭いのに何フロアもあり、我々が通されたのは3階。「いったい何階建てだろう？」と思ったが、あとで確認したら3階建てだった。

オーダーしたのは、三崎ゆえにマグロ重。しかも赤身、中トロ、大トロの3種が入っているのだ。

マグロは、系列で販売店や寿司屋があるだけあって美味。マグロ好きの我が息子も、満足のようである。

昼食を終え、うらりでマグロの買い物。漬け、切り落とし、剥き身など、好みの組み合わせで3パック1000円のマグロを購入する。

ついでに、味噌汁の具にうってつけの海藻「あおさ」も。嫁さんは嫁さんで、友人へのお土産を購入した。

満腹になり、次の目的地である和田長浜（わだなはま）海岸へ。夏にはおなじみのこの海岸も、オフシーズンに訪れるのは初めてとなる。

途中、三浦半島の渋滞の名所である引橋で渋滞に引っかかったものの、コンビニにも寄ったため30分ほどで到着。昨年8月以来、9か月ぶりの訪問である。



海の家がないので、何となく寂しい。ちなみに、昨年夏はこのような状態だった。



夏なのに人が少ないのは、朝9時前に撮影したため。時間がたてば、人出が多くなるのだ。

ここへ来たのには、わけがある。我が息子を「放牧」させるためなのだ。

砂遊びをさせるもよし、磯遊びをさせるもよし。海にどっぷりつかからないまでも、遊ばせるには十分である。

駐車場は無料なので混雑を予想したが、午後ということもあり難なく駐車。キャンプやバーベキュー、マリンスポーツを楽しむ人も多く、夏でなくても人が多い。

ところで、5月は紫外線が強くなる。そのため、海に出る前に日焼け止めは欠かせないのだ。

車から降り、お砂場遊びセットを持って海岸へ。我が息子も、久々の海に戸惑っている様子である。

しかし、靴を脱いで海につかると、海の感触が戻ってきたのか波打ち際で遊び始めた。そして、しゃがみ込んだがばっかりにズボンが濡れてしまったのだ。

一応、こういった事態のために着替え一式を用意しておいて正解。車に戻り、下だけ着替えさせる。

15時となり、そろそろ退散。時間もあるので、一般道で横浜へ行くことにする。

以下、[こちら](#)へと続く。

[\[トップページ\]](#)



2009年5月30日掲載

ふくちゃんのGW2009／中華街編

ゴールデンウィークの三浦半島ドライブの模様をお送りしている今月の“つれづれWEB”だが、今回はその最終回。[1回目](#)、[2回目](#)はそれぞれをご覧ください。

15時に和田長浜（わだなはま）海岸を出発した我々は、一路横浜へ。横浜横須賀道路経由なら40分ほどで到着できるが、ここはあえて一般道を通ることにした。

これには大きな理由がある。わざと時間をかけることで、我が息子のお昼寝タイムを確保するためなのだ。

林ロータリーから横須賀市街、国道16号線から八景島、湾岸道路を通る。1時間半ほどかけて、横浜に到着した。

横浜といえば、庭も同然の中華街。ただ、ゴールデンウィークの夕方という“ピーク時間帯”はあまり来慣れないのである。

でも、いつも利用する駐車場には空きがあった。今回のドライブは、ゴールデンウィークなのにことごとく駐車場に恵まれている。

大量の観光客が押し寄せているので、せっかくだから観光気分で中華街を巡る。それでも、我が息子の「放牧」は欠かせない。

関帝廟通りにある山下町公園で、しばし我が息子を遊ばせる。夕食までの時間稼ぎの側面もあるのだ。

放牧を終わらせると、公園の裏にある媽祖廟（まそびょう）へ。2006年に建立されたもので、中華街では比較的新しい名所である。



媽祖廟は、中国・宋の時代に実在した林默娘という女性がまつられており、航海の安全にご利益があるという。ほかにも学問、縁結び、安産、子宝、金運それぞれの神様がまつられている。

せっかくなので、1束15本500円のお線香をお供えすることに。5か所の香炉に3本ずつお供えするのだが、香炉の番号に従えば難なくお供えすることができる。

さらに本堂に入り、中国式の参詣方法をレクチャーされた。ご本尊の前に跪き、3礼して願い事を念じるのである。

媽祖廟への参詣を終え、いよいよ夕食。いろいろ回った結果、最近新規オープンした刀削麺（とうしょうめん）の店にすることにした。

刀削麺とは、練った小麦粉の生地を刃物でそぎ落とし、鍋に入れてゆで上げる麺料理である。麺はとても太くて平べったく、なおかつ一定しないのでモチモチとした食感が楽しめるのだ。

唐辛子マーク1つのユーポー刀削麺を頼んでみたが、意外と辛かった。唐辛子マーク1つでこの辛さなのだから、3つならどれだけの辛さになるのか想像もつかない。

食事も終わり、第三京浜経由で帰宅の途につく。帰りも環八で多少渋滞に捕まった程度で、自宅には21時に到着した。

今回のドライブは、高速道路1000円とは全く無縁で、第三京浜や横浜新道は割引すらない。逆に言えば、高速道路1000円がなかったら激しい渋滞になったかもしれないのだ。

2年間限定の高速道路1000円、活用するのはいつになるのだろうか……？

[\[トップページ\]](#)